

一次性下肢静脈瘤治療の選択肢



医師説明用

医療用接着材*によるグルー治療と高周波焼灼カテーテル治療

医療用接着材によるグルー治療



- ・下肢静脈瘤専用の接着材（グルー）で血管を閉塞する治療法
- ・1箇所麻酔をする
- ・治療後当日よりジョギングなどの軽い運動や飛行機での移動が可能
- ・術後の弾性ストッキングの着用は任意

高周波焼灼カテーテル治療



- ・高周波による熱で血管を閉塞する治療法
- ・複数箇所穿刺し、治療する静脈の周囲に麻酔液を注入する
- ・世界では20年、日本でも10年以上前から行われている治療法
- ・治療後通常の歩行は当日から、運動や長時間の立ち仕事は約1週間後から可能
- ・術後の弾性ストッキングの着用が必須

医療用接着材によるグルー治療



接着材を注入するためのカテーテルを治療する静脈に挿入する



下肢静脈専用の医療用接着材を注入する



皮膚の上から軽く圧迫する



治療する静脈全体に接着材を注入し閉塞する



カテーテルを抜き、絆創膏を貼る

高周波焼灼カテーテル治療



高周波エネルギーを出すカテーテルを治療する静脈に挿入する



熱による組織や神経の損傷および痛みを防ぐため、治療する静脈の周囲に麻酔液を注入する



高周波の熱エネルギーで血管の内側を焼灼する



治療する静脈全体を焼灼し閉塞する



カテーテルを抜き、弾性包帯を巻く

*シアノアクリレート（1950年代から世界中で脳血管や食道胃静脈瘤などの治療に使用されている医療用接着材）をベースに作られた、下肢静脈専用の接着材。

医療用接着材によるグルー治療は、所定のトレーニングプログラムを修了した医師のみ実施することができます